

令和 5 年度

5生工第21号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)

(有) サクライ 設計

図 面 目 録							
図 番	図 面 名 称	縮 尺		図 番	図 面 名 称	縮 尺	
		A 1 判	A 3 判			A 1 判	A 3 判
M-01	表紙・図面目録	—	—				
M-02	改修 特記仕様書 (1)	—	—				
M-03	改修 特記仕様書 (2)	—	—				
M-04	設備 標準図 (1)	—	—				
M-05	設備 標準図 (2)	—	—				
M-06	配置図、付近見取り図	1/300	1/600				
M-07	消火栓設備機器表・計算書	—	—				
M-08	屋内消火栓 (既設) 地階 1 階平面図	1/150	1/300				
M-09	屋内消火栓 (既設) 2 階平面図	1/150	1/300				
M-10	地階 消火栓ポンプ室詳細図	1/30	1/60				
M-11	事務室 平面詳細図	1/30	1/60				

小出郷総合体育館事務室等改修工事
(機械設備)設計図

魚沼市教育委員会事務局生涯学習課
令和5年5月(全11枚)

工程場所 魚沼市井口新田 地内 建物概要						
建 物 名 称	構造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考	
小出郡総合体育館						

仕 様 書

・ 共通仕様

- [illegible]

＜別表＞		項目	品名・規格と後の流通仕様の規定
		第1種 一般用途事項 第1型 一般用途	
(1)	1. 1. 2. [1. 1. 2.] 用品の定義		<p>(7) 「監督員」とは、約款第10条に基づき発注者に通知された者による。</p> <p>(8) 「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新調機(CALシステム)で電子方式複製された電子的取扱いによる。</p> <p>(9) 「工事現場」とは、約款第7条の4の4の工事現場を指すために発注者に提供された監督員が行った検査を行い、工事の進捗状況、施工状況、出来形、品質及び引継ぎ式の検査(以下、②に定める検査を除く。)を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 工事の完成（約款第23条） (b) 部分払の請求に係る部分払に係る部分払支払工事材料等（約款第38条） (c) 部分直しの指定部分に係る部分払（約款第39条） (d) 契約の解除時における出来形部分（約款第46条） (e) 必要がなると認められた臨時検査（約款第56条）
(2)	1. 4. 2. [1. 4. 2.] 構材の品質等		<p>(1) 使用する構材は、「建築材料・設備材料等品質管理評価基準 設備構材等評価基準（契約時の最新版）」の名称に記載されている項目については、当該基準に記載されている材料又該評価基準の特性及び性能が、設計図書に定める品質及び性能を有する物品とする。ただし、前記評価基準に記載されていない材料、商品に関するもの除外。</p> <p>なお、「新造」は、品質及び性能が設計書から引渡された状態であるものを指し、製造業者による使用期間等の定めのある場合を除き、数量一定期間内であることを前提とするものではない。</p> <p>(2) 使用する構材が、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員へ提出する。</p> <p>ただし、設計図書においてJIS、JAS又は「給排水設備の構造及び材質の基準に関する事項」による指定を受けた構材の場合、JIS-Cや、JAS-Cや「給排水設備の構造及び材質の基準に関する事項」に適合することを示した技術的説明書の写りの資料を使用する場合あらかじめ監督員の承認を受けた場合（次の（ウ）から（オ）までのうち該当する場合は、あらかじめ監督員の承認を受けたものとみなすことができる。）は、資料の提示を省略することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 建築基準法等そのほか法令に基づく製造物、マーキングの提示を受ける構材 (イ) 建築材料・設備材料等品質管理評価基準等評価基準に記載されている構材又は製造物の製品（特に付帯仕様及び改修仕様等の特記に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ウ) 特記により指定された構材または製造物の製品
(3)	1. 4. 5. [1. 4. 5.] 構材の検査		<p>(1) 工事現場へ搬入した構材は、擇定ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の（ア）～（エ）に該当する場合又はあらかじめ監督員の検査を受けた場合は、この限りでない。</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 工事完成検査時点または工事現場で、JIS、JAS又は「給排水設備の構造及び材質の基準に関する事項」（平成9年建設省令第14号）に適合することを示す保証書類のマーキングを確認できる場合 (イ) 建築基準法等そのほか法令に基づく製造物または材料であり、工事完成検査時点または工事現場で、品質、性能に関するマーキングを確認できる場合
	1. 6. 1. [1. 7. 1.] 工事検査		<p>(2) 前款に基づく部分払を要求する場合は、当該箇所に係る出来形部分等の算出方法について監督員の同意を得なければならない。</p> <p>(3) 1の通知又は（2）の請求に基づく検査並びに約款第4条及び第5条の規定する検査は、発注者が通知された検査日に行われるべきものである。</p>

II. 特記仕様

凡 例

- (1) 草と項目は番号に ○ のついたものを適用する。特記事項は ・ に ○ のついたものを適用する。
(2) 特記事項で、◎ 印のない場合は、※ 印を適用する。◎ 印と ※ 印のある場合は ◎ 印のみ適用する。
◎ 印と ※ 印のある場合は両方適用する。
(3) 根拠項目の「a-b.c.d」は機仕並びに改修機仕の第 a 編 b 章 c 節 d 項を表す。

項 目	特 記 事 項	備考 (1) 関係 書類の 番号
1. 工事実績情報の 登録	舗装工事費 500万円以内の合算登録する。	ハ-1.4
2. 概算工期	※ 発注 令和 年 月 日 ~ 完了 令和 年 月 日	ハ-2.1
3. 内部の工事開 一般事項	※ 発注 令和 年 月 日 ~ 完了 令和 年 月 日 とする。 ただし、次の作業は内部工事着手前に行える。(着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議 のうえ決定する。) ※ 工場製作のための現場寸法調査 ※ 工事に係る監理技術者資格者及び監理技術者講習修了証を有するものと、次のいずれか の要件を満たす監理技術者を専任に配置できること。 ① 監理者の責に準じ、10年以上の実務経験を有すること。 ② 一級土木監理技術者又は二級土木監理技術者(以下「監理技術者」とする)において監理技術者と なり得るものにも属する。 の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 ＜表-2＞ 「発生品の処理等」による。	ハ-2.2 ハ-2.3 ハ-2.4
4. 監理技術者の 要件		
5. 発生品の処理等		ハ-2.5
6. 概算の作成に 用いる図様	下記の図様は、標化あるいは改修標化 第1編1.4.6(1) (ウ) を採用する。	ハ-2.6 ハ-2.7
7. 機材士	※ 配管機 (建築配管作業) ※ 熱地盤機 (保温、保冷、防湿) ※ 冷凍、空気調和機器工事 (換気設備及び整備) ※ 建築電気工事 (分) 製作及び取付	ハ-2.8 ハ-2.9
8. 見本施工	※ 実施しない ※ 実施する ()	ハ-2.10 ハ-2.11

①	完成図面	下記のものを提出し提出する。なお、作成方法及び数量等は監査員の指示による。 完成図：基本（原図）A3 1 冊 CADデータ 保管に関する資料
②	施工工程の取扱い	施工段階の作業内容に係る当該施設に關連した履歴は、発注者に委譲するものとする。
事項	工事完成写真 工事進捗状況写真	工事が完了後直ぐうえ監督員に提出する。提出枚数 1 部 工事状況や写真等の履歴は、工事における保守・施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省土木局官署情報公開標準規程」第4條「工事写真撮影要領」（平成28年）に定める工事写真規格に基づく機器設備と仕様を（平成30年度）を参考に、撮影方針等を事前に監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承認を受けた場合は、撮影画像の作成を省略できる。 提出枚数 1 部 スリッパ、靴入れなどの他工事との取合いはいく表～>「工事区分表」によらずのものとし、施所に交還可能な時期までに必要となる大きさ、数量などを関係者と調整する。
	他工事との取合い	
1. 消火栓の非破壊検査書	通電、低圧電気等、冷却水等、冷水温水管 ※適用しない ●適用する（ＲＴ・ＰＴ・ＭＴ） 高圧蒸気管 ※適用しない ●適用する（ＲＴ・ＰＴ・ＭＴ） ※適用ない ●適用する（ＲＴ・ＰＴ・ＭＴ） 機械室内部等に設置される機種の仕様の記述のある場合の場合は下記による。	
2. 弁及び配管支持		
3. 管の埋設		
4. 埋設配管の表示		
5. 地盤改良土・盛土		
6. 新築閉鎖		
7. 共同工事		
8. 共通工事		

設 置 場 所	耐 震 要 求 性 質 の 分 類			
	Ⅰ 一般の地震(Ⅰ類)		Ⅱ 一部の地震(Ⅱ類)	
	Ⅰ 一般の地震(Ⅰ類)	Ⅱ 一部の地震(Ⅱ類)	Ⅰ 一般の地震(Ⅰ類)	Ⅱ 一部の地震(Ⅱ類)
上層部・屋上及び3階部	2.0	2.0	1.5	1.0
中 間 部	1.5	1.5	1.0	0.6
地下部・1 階	1.0	0.6	0.6	0.4
	1.0	1.0	1.0	0.6
	1.0	1.0	1.0	0.6

(注) 1. () 内の数値は防振装置の設置の場合に適用する。
 2. < > 内の数値は水櫃に適用する。
 3. 上層部の数値は、2～6階層の場合は上層部、7～9階層の場合は上層2階、10～12階層の場合は上層3階、13～15階層の場合は上層4階の数値に適用する。
 (1) 設計用水平地震力・地震動の数値より設計用水平地震力を算定したとき、
 (2) 設計用鉛直地震力・設計用水平地震力の $\frac{1}{2}$ とし、水平地震力 \times 水櫃に
 くるものとする。

下記の数値は構体の第2種 1.2.2.2.1項を適用する。

追加する接点及び端子は構体表による。

下設の振器は構体の第2種 1.2.2.2.2項を適用する。

図示の設置場所において、おとり型と異質鋼の接合部には振器を設置する。

① 監督員事務所	※ 設けなし ・ 計画・仮設事務所の中に監督員用1つを（「程度確保する。」）
② 工事用水	構内既設の設備 ※ 利用できない（※ 有償・無償） ※ 利用できない
③ 工事用電力	※ 利用できない（※ 有償・無償） ※ 利用できない
④ 仮設建築等	仮設事務所、倉庫、下り等の仮設建築物の位置は、あらかじめ監督員の承認を受け、すべて工事者の負担とする。・ 構内既設の場所に増築 ※ 構外設置は適切な位置とする
⑤ 仮設建築	※ 利用できない（※ 再生・リサイクル） ※ 砂利 ※ 砂 ※ 砂利・砂（※ SD295・SD345）
⑥ 地盤工事	※ 利用可能（※ 雑種・砂利・砂石） ※ 砂利と砂石の割合（／配以下）
⑦ 舗装工事	雑種材 ※ 砂利・砂石
⑧ コングリート	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑨ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑩ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑪ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑫ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑬ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑭ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑮ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑯ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑰ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑱ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑲ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
⑳ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉑ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉒ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉓ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉔ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉕ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉖ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉗ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉘ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉙ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉚ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉛ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉜ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉝ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉞ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㉟ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊱ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊲ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊳ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊴ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊵ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊶ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊷ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊸ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊹ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊺ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊻ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊼ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊽ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊾ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
㊿ 骨格材	骨格材 ※ 砂利・砂石
① 電気機	機器は性能2倍に1.1を乗ずる。ただし、下記の機器は製造者の標準仕状とてよい ※ 換気機 ※ 電力用

① 容量等の表示	<p>(1) 機器類の能力、容量は表示された数値以上とする。</p> <p>(2) 需給側出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。</p> <p>(3) 参考数値の表示は省略して行うとする。</p> <p>※ 50 Hz 1 相 60 Hz 3 相</p>																																				
② 電源電圧等	<p>はかり</p> <p>※ 試験運転</p> <p>※ 電源電圧</p>																																				
③ 接続配線	<p>※ 電源コネクタ・端子、配線の配線図の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる</p> <p>※ 水漏設備 (※ 空調設備) ※ 衛生設備</p> <p>※ 室内空気温度の測定</p> <p>※ 室内気流及び湿度の測定</p> <p>※ 騒音測定</p> <p>※ 防雨・防風・防錆状態等の記録</p> <p>※ 図示による ()</p>																																				
④ 接続配線																																					
⑤ 衛生	<p>※ 仕様書で図 3、4、5、6 のいずれによるほか下記による</p> <table> <tr> <th>① 構造・設置位置の標準仕様</th><th>保温厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>材料及び施工順序</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>※ R100の7/4M</td><td></td><td>※ 給排水</td></tr> <tr> <td>1. 保温層</td><td>15A ※ 25A</td><td>※ 排水管</td></tr> <tr> <td>2. 粘着テープ</td><td></td><td>※ 消火管</td></tr> <tr> <td>※ R125の7/4M</td><td>32A ※ 290A</td><td></td></tr> <tr> <td>4. 外装板</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(2) 床下、掘削内設置の標準仕様 (外気の入る部分)</p> <table> <tr> <th>材料及び施工順序</th><th>保温厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>1. 保温層</td><td></td><td>※ 給排水</td></tr> <tr> <td>2. 粘着テープ</td><td>15A ※ 150A</td><td>※ 排水管</td></tr> <tr> <td>※ R125の7/4M</td><td></td><td>※ 消火管</td></tr> <tr> <td>4. 外装板 7/4M 5/20A</td><td></td><td></td></tr> </table>	① 構造・設置位置の標準仕様	保温厚さ (mm)	施工箇所	材料及び施工順序			※ R100の7/4M		※ 給排水	1. 保温層	15A ※ 25A	※ 排水管	2. 粘着テープ		※ 消火管	※ R125の7/4M	32A ※ 290A		4. 外装板			材料及び施工順序	保温厚さ (mm)	施工箇所	1. 保温層		※ 給排水	2. 粘着テープ	15A ※ 150A	※ 排水管	※ R125の7/4M		※ 消火管	4. 外装板 7/4M 5/20A		
① 構造・設置位置の標準仕様	保温厚さ (mm)	施工箇所																																			
材料及び施工順序																																					
※ R100の7/4M		※ 給排水																																			
1. 保温層	15A ※ 25A	※ 排水管																																			
2. 粘着テープ		※ 消火管																																			
※ R125の7/4M	32A ※ 290A																																				
4. 外装板																																					
材料及び施工順序	保温厚さ (mm)	施工箇所																																			
1. 保温層		※ 給排水																																			
2. 粘着テープ	15A ※ 150A	※ 排水管																																			
※ R125の7/4M		※ 消火管																																			
4. 外装板 7/4M 5/20A																																					

9	9.0.7		(3) 銅製配管の保温 (● 要 ※ 不要) (4) ステンレス製配管/銅配管の保温 (● 要 (外装材は、アルミニウム系 ● ステンレス鋼) ※ 不要) (5) 給排水の保温 (標準仕様がステンレスパイプの場合、(6.5以上)) (6) 標準仕様の保温で合致しない配管は2 (ダブルタイプ) の使用箇所 ● 表示による ●																													
2	空調		標準仕様2編3、1.4項によるほか下記による。 屋外露出配管の保温仕様																													
			<table><tr><th>管径及び保温仕様</th><th>保温厚さ (mm)</th><th>施工程</th></tr><tr><td>φ1/2×1/2~1/2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>1. 保温管</td><td>15A ~ 25A</td><td>50 mm</td></tr><tr><td>2. 接続</td><td></td><td></td></tr><tr><td>3. φ1/2×1/4</td><td>32A ~ 20A</td><td>40 mm</td></tr><tr><td>4. φ1/2×1/2</td><td></td><td></td></tr></table>	管径及び保温仕様	保温厚さ (mm)	施工程	φ1/2×1/2~1/2			1. 保温管	15A ~ 25A	50 mm	2. 接続			3. φ1/2×1/4	32A ~ 20A	40 mm	4. φ1/2×1/2			温水管 冷水管 冷温水管 配水管										
管径及び保温仕様	保温厚さ (mm)	施工程																														
φ1/2×1/2~1/2																																
1. 保温管	15A ~ 25A	50 mm																														
2. 接続																																
3. φ1/2×1/4	32A ~ 20A	40 mm																														
4. φ1/2×1/2																																
4	保		屋内露出の保温で合致しない配管は1 (シングルタイプ) の使用箇所 ● 表示による ● 暖房システムポリマー等への給排水の保温は、標準仕様書第2編3、1.4項の項による。 建築物の室内配管の保温は標準仕様書第2編3、1.4の温水管の項による。 空気配管及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3、排水及び通気管の項による。 ● 両側の保温 ●																													
10	10.0.1	10.0.1.1	下記の施工条件の保温の仕様は、それらの項を適用する。																													
			<table><tr><th>区分</th><th>施工箇所 (番名)</th><th>保温種別</th><th>外装</th></tr><tr><td>ダクト</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>● 配管加熱ケース</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>● 使用する (※ 塩化ビニル)</td><td></td><td></td><td>● 使用しない</td></tr><tr><td>● 高温低気圧の保温時は冷凍管による。</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>● 高温低気圧の配管時は75mmとする。</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	区分	施工箇所 (番名)	保温種別	外装	ダクト				配管				● 配管加熱ケース				● 使用する (※ 塩化ビニル)			● 使用しない	● 高温低気圧の保温時は冷凍管による。				● 高温低気圧の配管時は75mmとする。				
区分	施工箇所 (番名)	保温種別	外装																													
ダクト																																
配管																																
● 配管加熱ケース																																
● 使用する (※ 塩化ビニル)			● 使用しない																													
● 高温低気圧の保温時は冷凍管による。																																
● 高温低気圧の配管時は75mmとする。																																
			下記の1は標準仕様2編巻3、2により保温を行う。																													
			<table><tr><th>ダクト</th><th>施工箇所</th><th>保温</th></tr><tr><td>外気 (OA)</td><td>全て</td><td>2 5 mm</td></tr><tr><td>排気 (EA)</td><td>全て</td><td>標準仕様2編巻2、3、7 XI (50 mm, 25 mm)</td></tr><tr><td>排気 (EA)</td><td>外壁から1m</td><td>2 5 mm</td></tr></table>	ダクト	施工箇所	保温	外気 (OA)	全て	2 5 mm	排気 (EA)	全て	標準仕様2編巻2、3、7 XI (50 mm, 25 mm)	排気 (EA)	外壁から1m	2 5 mm																	
ダクト	施工箇所	保温																														
外気 (OA)	全て	2 5 mm																														
排気 (EA)	全て	標準仕様2編巻2、3、7 XI (50 mm, 25 mm)																														
排気 (EA)	外壁から1m	2 5 mm																														
3	清		<table><tr><th>区分</th><th>保温種別</th><th>外装</th></tr><tr><td>サブリヤチェーン</td><td>M (イ) or (D) K</td><td>※ する ※ し</td></tr><tr><td>消音チェーン・消音エルボ</td><td>L (イ) or (D) W</td><td>※ する ※ し</td></tr><tr><td>リフトチェーン</td><td>L (イ) or (D) W</td><td>※ する ※ し</td></tr><tr><td>吐出口ボックス</td><td>L (イ) or (D) W</td><td>※ する ※ し</td></tr></table>	区分	保温種別	外装	サブリヤチェーン	M (イ) or (D) K	※ する ※ し	消音チェーン・消音エルボ	L (イ) or (D) W	※ する ※ し	リフトチェーン	L (イ) or (D) W	※ する ※ し	吐出口ボックス	L (イ) or (D) W	※ する ※ し														
区分	保温種別	外装																														
サブリヤチェーン	M (イ) or (D) K	※ する ※ し																														
消音チェーン・消音エルボ	L (イ) or (D) W	※ する ※ し																														
リフトチェーン	L (イ) or (D) W	※ する ※ し																														
吐出口ボックス	L (イ) or (D) W	※ する ※ し																														

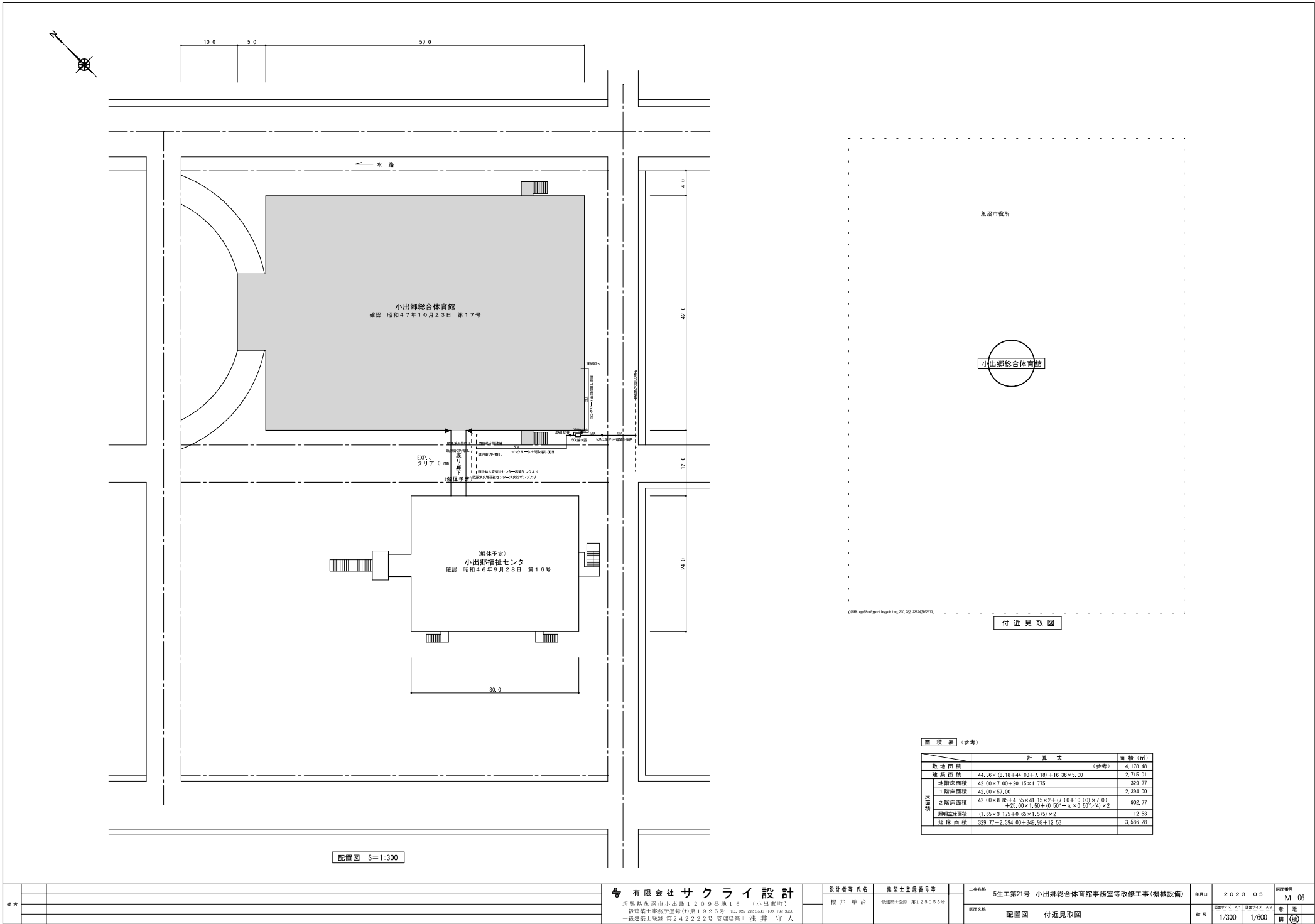
	⑤	① 塗装の箇所	標準仕様書第2巻、第2・3項により決定される。下記による。 ※ 下記の記載のない場合は電気設備仕様が変更を行う。 ○ 「電線出口」 ・ 下記の箇所に設置した配管、ダクトは必要を行わない。 ○ 「換気室」「電気室」「昇降機用エレベーター」 ・ 屋外露出部分は、海難防止のため(※建築法第218条)又はJIS A7006(ASSUCO)とする。
		2. 鋼材工事の箇所	
		3. 防食処理	コリウソール内埋設部、貫通部、支持部の金属質にはプラスチックテープ1/2重を施工する。
	⑥	① 大規模洗浄方式	※ ローラー方式 ・ FVフロー式 (※押しボタンス・ハンドル式) ・ FVフローターン併用式 水圧の不なる場所では低圧型とする。
		2. 小規模	船体洗剤 (※一体式・分注式)
		② 水洗	水洗剤を使用する場合は低圧型とする。
		3. 自動水洗	水の母管には、器具接続用減圧弁と高圧継手継ぎ手 (樹脂結核耐腐蝕) を使用する。 電源スイッチ ※ AC100V 乾電池 (※自己発電) 手動スイッチ (※なし) あり
		③ 温水洗浄便座	※ 温水供給装置 付加機能に標準仕様書第5巻1節2.1よりよるほか下記による。 ○ 遠隔風速乾燥機 ・ 暖房装置 ・ リモコン 付加機能 (標準仕様書、ソフト別添付書) ○ 水温調節機能 ・ 乾燥機能 ・ 加湿乾燥機能 ・ 加湿直結機能 ④ 噴射方式 材質 (※下記による) ・ 性能 ○ FRP製 ○ パネル形 ・ 一体形 (※複合板) ・ 単板 ・ 樹脂製 (パネル形) ・ 一体形 ・ 樹脂製 (パネル形) ・ 一体形 (※複合板) ・ 単板

24-1-1	44.3.1	形状及び寸法	※ 標準品による ※ 図示しない
24-1-2	44.3.2	タンクに給排水配管の接続口	※ 設ける ※ 設けない
24-1-3	44.3.3	タンクに緊急通報ボタン	※ 設ける ※ 設けない
24-1-4	44.3.4	水圧センサー	※ 電磁棒 ※ 電磁棒
24-1-5	44.3.5	(2) 高圧タンク 材質(下記に示す)	※ 複合板 ※ 複合板 ※ 複合板 ※ 複合板
24-1-6	44.3.6	※ FFR製(ハナバルク) 一体形	※ 複合板 ※ 複合板
24-1-7	44.3.7	※ 鋼製板(ハナバルク) 一体形	※ 複合板 ※ 複合板
24-1-8	44.3.8	ステンレス鋼製板ハナバルク(ボルト連結形) 保固(有/無)	※ 複合板 ※ 複合板
24-1-9	44.3.9	形状及び寸法	※ 標準品による ※ 図示しない
24-1-10	44.3.10	水圧センサー	※ 電磁棒 ※ 電磁棒
24-1-11	44.3.11	モニター	※ 貸与 ※ 取組
24-1-12	44.3.12	※ 現地表示式(直読式) 直読表示式	※ 標準品による
24-1-13	44.3.13	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-14	44.3.14	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-15	44.3.15	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-16	44.3.16	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-17	44.3.17	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-18	44.3.18	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-19	44.3.19	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-20	44.3.20	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-21	44.3.21	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-22	44.3.22	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-23	44.3.23	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-24	44.3.24	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-25	44.3.25	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-26	44.3.26	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-27	44.3.27	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-28	44.3.28	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-29	44.3.29	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-30	44.3.30	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-31	44.3.31	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-32	44.3.32	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-33	44.3.33	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-34	44.3.34	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-35	44.3.35	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-36	44.3.36	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-37	44.3.37	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-38	44.3.38	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-39	44.3.39	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-40	44.3.40	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-41	44.3.41	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-42	44.3.42	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-43	44.3.43	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-44	44.3.44	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-45	44.3.45	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-46	44.3.46	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-47	44.3.47	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-48	44.3.48	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-49	44.3.49	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-50	44.3.50	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-51	44.3.51	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-52	44.3.52	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-53	44.3.53	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-54	44.3.54	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-55	44.3.55	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-56	44.3.56	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-57	44.3.57	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-58	44.3.58	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-59	44.3.59	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-60	44.3.60	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-61	44.3.61	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-62	44.3.62	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-63	44.3.63	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-64	44.3.64	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-65	44.3.65	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-66	44.3.66	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-67	44.3.67	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-68	44.3.68	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-69	44.3.69	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-70	44.3.70	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-71	44.3.71	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-72	44.3.72	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-73	44.3.73	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-74	44.3.74	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-75	44.3.75	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-76	44.3.76	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-77	44.3.77	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-78	44.3.78	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-79	44.3.79	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-80	44.3.80	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-81	44.3.81	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-82	44.3.82	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-83	44.3.83	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-84	44.3.84	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-85	44.3.85	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-86	44.3.86	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-87	44.3.87	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-88	44.3.88	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-89	44.3.89	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-90	44.3.90	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-91	44.3.91	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-92	44.3.92	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-93	44.3.93	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-94	44.3.94	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-95	44.3.95	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-96	44.3.96	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-97	44.3.97	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-98	44.3.98	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-99	44.3.99	※ 標準品による	※ 標準品による
24-1-100	44.3.100	※ 標準品による	※ 標準品による

	9.	雑用水の水質の 規定	<p>① 建築物における相対的清潔の環境に關する法律に規定される建築物環境衛生管理に関する規程表は提出する。</p>
9.6.2.1	9.6.2.1	排水方式	<p>建築内汚水と雨水（※ 別途「合流」）を、 建築外に排出し、 排水用：排水溝・排水口・浄化槽・貯留・貯留浄化槽 雨水用：排水溝・排水口・浄化槽・排水溝</p>
9.6.2.2	9.6.2.2	配管材料	<p><表>「使用配管材料の一覧表」のとおり。 洗剤類及び手拭等に接觸する排水管又は通風トロップよりサイズアップとする。 ※ 排水管の材質は、硬質塩化ビニル樹脂製又はポリプロピレン製の排水パイプ、ラップと排水栓は専用パイプを使用し、排水栓は排水栓の下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大便用 ※ 塩ビ製フレキシブル管 ● 鉛管 (2) 小便用 ※ VP ● 鉛管 (3) 洗面、手洗用 ※ VP ● 鉛管 <p>エルボ等にて金具物を下方から取付けてはならない。</p>
9.6.2.3	9.6.2.3	増設立管の通気 方法	<p>● 小径立管 ● 標準品による。 ● 下水道事業指定品 ● 通気管の場合は換気とする。（ただし、通気管のみ場合は×） ● 排水設備接続する立管が、排水管が開口したにわたる場合は各層ごとに取り付け ● 通過式換気 ● 標準品による</p>
9.6.2.4	9.6.2.4	給湯設備	<p>① 一般給湯機 <表>「使用配管材料の一覧表」との通り。 ② 煙突排煙等 給湯用温水・煙突（・木工事 ※別途工法）煙道（・木工事 ※別途工法） ガス導管 燃焼室の構造（※ 燃焼室はmm） ガス導管 排気管 燃焼室の構造（※ 燃焼室はmm） 排気管、置き（※ SUS304、0.3mm以上）・図面に示す 箇所の形状（※ ステンレス製の角形排水トロップ・図面に示す）</p>

[illegible]

[illegible]



備考					

有限会社 サクライ 設計				
〒987-0011 小出町 1-2-0-0 惣地 1-6 (小出町)				
一級建築士事務所 藤井 孝治 (行) 第1925号 1L/501-02-0387 FAX 750-9998				
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人				

設計者等氏名	藤井 孝治
建築士登録番号等	第125055号

工事名称	5生工第21号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)
図面名称	配置図 付近見取図
年月日	2023.05
縮尺	1/300 1/600
意 識	横 ⑥

図面番号	M-06
------	------

消火設備 機器表

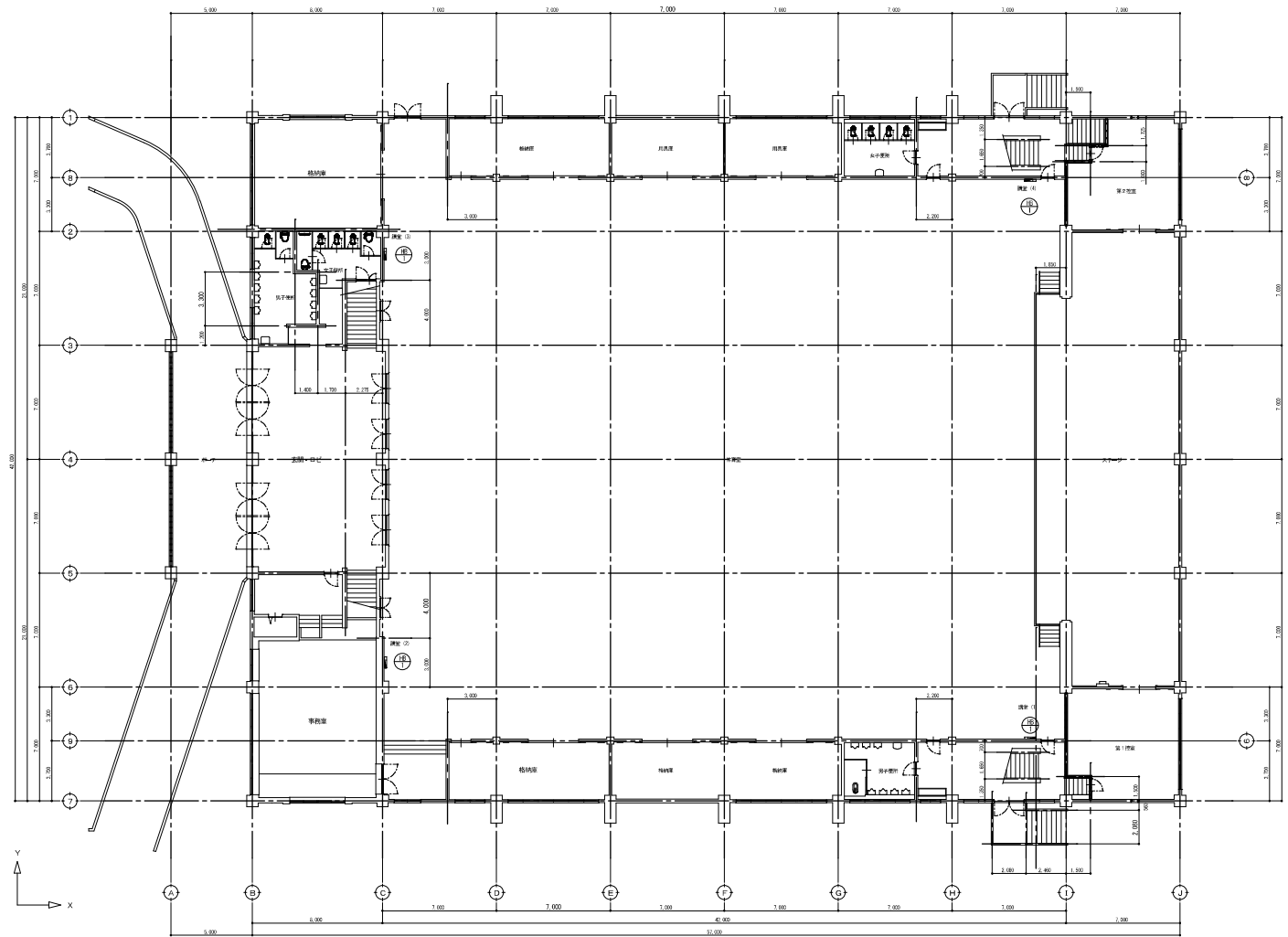
[illegible]

消火設備 計算書

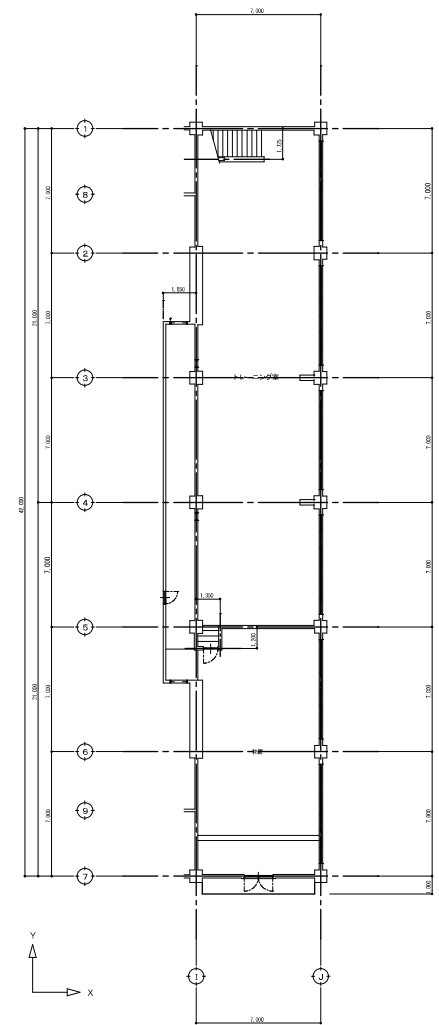
消防設備の種類	内火気発生設備（高操作性1号火気灯）		備 考
水素水量	同時開口数	2 個	
	有効水量	2.6 × N m ³	ボンプ室設置
ボンプ吐出量	同時開口数	2 個	
	ボンプ吐出量	150 × N 3.0 L/min	
ボンプ全編程	配管摩擦損失水頭	h ₁	1.0 m
	実揚程	h ₂	6 m
	ノズル放水圧力水頭	h ₃	1.7 m
	消防ホース摩擦損失水頭	h ₄	2.5 m
	全揚程	1.1 × (h ₁ + h ₂ + h ₃ + h ₄)	6.3 . 8 m
ボンプ仕様	(F U U-1) φ50×300L/min×65m (日本消防設備安全センター認定品)		
専用水栓	耐震基準適合品 F R P製8.0m ³ 水平型変圧1.0G		

■ 特記事項

1. 屋内消火栓は、水平距離25mで建物を包含する位置に設置する。
2. 消防用設備については、消防機関と事前打合せを行うとともに、消防法令で定める技術上の基準に従って設置する。

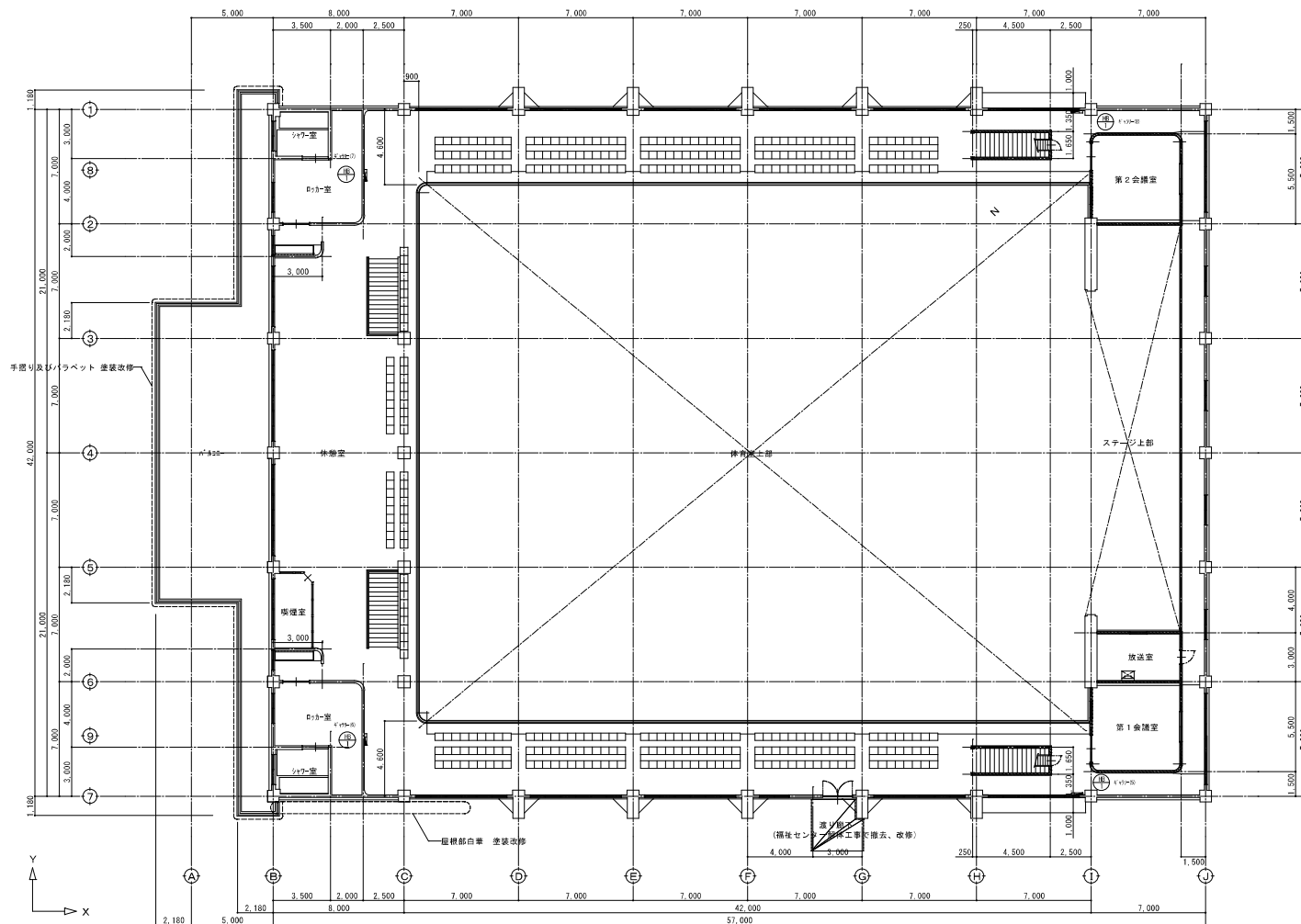
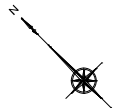


1階平面図 S=1:150



地階平面図 S=1:150

備考		有限会社 サクライ 設計 〒420-0801 静岡県富士市小出町1-2-9 2F 10号室 (小出町駅) 一級建築士事務所 登録(特)第1925号 TEL:0542-225001 FAX:0542-225002 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 櫻井 幸治	建築士登録番号等 登録地:静岡県 第125055号	工事名称 5工第21号 小出郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)	年月日 2023.05	図面番号 M-08
					図面名称 屋内消火栓(既設)地階1階平面図	縮尺 1/150 1/300	意 識 横 電



2階平面図 S=1:150

備考	有限会社 サクラ イ 設 計 〒460-0001 名古屋市中区小田原1-20-9 地下1F (小田原町) 一級建築士事務所 登録(特)第19125号 TEL:052-2500558 FAX:2500559 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人					設計者等 氏名		建築士登録番号等		工事名称		年月日	2023.05	図面番号	M-09					
						櫻井 幸治		軟体士登録 第1250055号		5生工第21号 小田郷総合体育館事務室等改修工事(機械設備)										
											図面名称		屋内消火栓 (既設) 2階平面図		縮尺		1/150 1/300		意 図	

